

事業所名 beみ・らいず 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025年 3月 19日

法人（事業所）理念		<p>子どもも大人も、人を尊重し、一人ひとりの発達を支える場所をつくります。 自分で通えない理由に、進路などの選択肢が狭まらないよう子どもたちが「外に出る力」をつけることで、その選択肢を広げ増やすことができる、そのサポートをします。 子どもたちがどンドン外に出て、いろんな体験をします。子どもたちの「できる」「やってみたい」を引き出せるようサポートしていきます。</p>													
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや掃除、友だちとの関わり方、意思の表現方法など、集団活動に必要なソーシャルスキルの獲得を目指すプログラムを提供します。進路や将来を決める際には、自分の興味や関心の対象を知り、自ら選択して行動するための支援を行います。 ・人との関わり方を学べるように、少人数のグループクラス制を取り入れて、子ども同士が自然に関われるように、スタッフがサポートします。 ・日常生活に必要なライフスキルのうち、「外に出る力」に特化したプログラムとその実践を行っています。 ・「安全に出かける方法」「外出時の準備について」「携帯電話などのツールの活用法」「買い物への行き方・買い方」「交通機関の利用の仕方」など、様々なプログラムを提供しています。 ・子どもの成長や個性に合わせて目標を見極めたプログラムを作成し、個人へのアプローチと集団活動での支援を組み合わせ、みんなで楽しく挑戦していく経験を重ねます。 													
		送迎実施の有無						なし							
営業時間		平日			14時 00分から 20時 00分まで			14時 00分から 20時 00分まで							
		土曜日			9時 30分から 18時 30分まで										
		外出実践コース						コミュニケーション特化(SST)コース							
支援内容															
本人支援	健康・生活	自身の特性や体調、健康状態を把握し、心身ともに健康に保つことができるよう支援します。健康状態や調子の確認とそれに合わせて柔軟に必要な対応を行います。身の回りの清潔や時間管理、空間の環境整備を行います。						自身の特性や体調、健康状態を把握し、心身ともに健康に保つことができるよう支援します。健康状態や調子の確認とそれに合わせて柔軟に必要な対応を行います。身の回りの清潔や時間管理、空間の環境整備を行います。							
	運動・感覚	プログラムを通して、外出するためのちからやマナー、ルールを身につけられるように支援します。感覚や認知の特性をふまえて、外出に必要な力を身につけます。						プログラムを通して、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援します。感覚や認知の特性をふまえて、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持の力をつけられるよう支援します。							
	認知・行動	認知の特性をふまえ、安全に外出、移動するための交通ルールや、お金の支払い方などの社会のルールを身につけられるように支援します。						認知の特性をふまえ、自分にとっての情報を適切に処理できるように支援します。認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。自分の得意・不得意を知り、気持ちの整理の仕方や対処法を学べるよう支援します。							
	言語コミュニケーション	外出のなかで起こりうる「こんな時どうする？」という状況に応じた、対応方法を身につけられるように支援します。困った時や手伝ってほしい時など援助要求や自らの想いを発信する方法を学べるように支援します。						話し言葉や文字、記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を用いて気持ちを表出する支援を行います。プログラムや集団遊び、自由時間を通して、他者と円滑にコミュニケーションが取れるスキルを身につけられるよう支援します。困った時や手伝ってほしい時などの援助要求や自らの想いを発信する方法を学べるよう支援します。							
	人間関係社会性	お店でものをかう時、電車に乗る時など、外出の中でコミュニケーションが必要になる場面を想定して、自分で外出するためのちからを身につけられるように支援します。						自分のできることできないこと等、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。集団に参加するための手順やルールを理解して、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。集団生活の中での周囲の人との距離感や関係性を理解し、集団内での役割や貢献感、他者信頼を持てるよう支援します。							
家族支援		定期的に保護者との面談を設け、療育での様子を伝えるとともに家庭での様子を確認し、情報共有を行うことで、親子関係や家庭生活を安定・充実させるよう支援していきます。						移行支援		ライフステージに応じた進路選択に向けて、本人・保護者の意向を確認しながら支援を行います。事業所以外の学校や支援先とも連携して、地域社会への参加を目指します。					
地域支援・地域連携		地域の関係機関と情報共有、情報交換を行い、役割分担をしながら他機関とも連携して支援を行っていきます。						職員の質の向上		月1回の支援者研修と新人研修等各年代に合わせた研修、法人・事業部での講師を招いてのセミナー等を年間通して行っています。また、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理士や教員免許所持者等を配置し、お互いに学び合い、多角的に支援する体制を作っています。					
主な行事等		月に1回程度、特別療育を行っています。目的としては、公共交通機関を使って、交通ルールを守り、安全に移動することができたり、チームに分かれて意見を出したり相談をしたりしながら決める経験を積むことできるようにしています。													